

〔備前老人物語〕一ある人のいひしは、我此世に生れてうれしき事三あり、一に男に生る也、二に下戸に生れたりといひて、今一つをばいはず、しゐてとはれてのち、大名の子に生れぬがうれしきといふ、其故いかにと問へどもく、秘してあかさず、いかなる心にかありける、

〔伊呂波字類抄〕人事樂タノシミ 娛悦也 愉般考般 宗宗 愉喜 審怡 歡歡 虞

聊扶 尿甘 區苦 媮媮 湛肥 嬉嬉 嬀嬀 槃愷 恂恂 喜衍 怙怙 勸勸 盤盤 賴

預已上ノシシミ 〔同久疊字〕快樂 〔同古疊字〕娛樂

〔書言字考節用集八〕樂タノシム 娛同 逸同 豫同 逍遙選文

〔萬葉集三〕太宰帥大伴卿讚酒歌十三首〇十二 首略

生者イカレトモニモシスルモノ、遂毛ニモシスルモノ、物爾ナレ有者ハコノヨナル、今生在間者ハタタシクアラナ、樂乎ヲラナ有名、

〔古今和歌集序〕たとひ時うつりことさり、たのしびかなしびゆきかふとも、此うたのもじあるをや、〇下

〔日本釋名中〕樂タノシム たのしとは、たは手也、のしはのぶる也、今も俗にのぶるをのすと云、手をのべて舞ば、心たのしむ也、是舊事記第二卷、又古語拾遺に見えたり、

〔伊勢平藏家訓〕苦樂の事

一樂といふはたのしみなり、をよそ天地の間に生れ出るもの、中、鳥獸虫けらもある中に、人に生る、事たのしみなり、女もある中に、男に生る、事たのしみなり、かたは者うつけ者もある中に、常の人に生る、事たのしみなり、若死する人もある中に、長生する事樂しみなり、きのふ死たる人もあるに、けふ迄生ながらへたるは樂しみなり、病身なる人もあるに、無病なるは樂しみなり、亂世に生れたる人もあるに、太平の御代に生れあひたるはたのしみなり、乞食もある中に、貧乏ながらも相應に渡世するは樂しみなり、賤しき人もある中に、小祿なりとも賜はりて、人の上